

令和2年度進行管理・評価シート
高梁市歴史的風致維持向上計画（平成22年11月22日認定）
（最終変更 令和2年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 関係各課との連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 高梁市景観計画に基づく良好な町並みの維持	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 高梁市歴史的町並み保存地区整備事業	3
2 史跡備中松山城跡記念物保存修理事業	4
3 旧吹屋小学校校舎保存修理事業	5
4 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	6
5 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業	7
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用について	8
1 文化財の修理について		
2 文化財の保存・活用を行うための施設について	9
3 文化財の保存及び活用の普及啓発について	10
文化財の防災について、埋蔵文化財の取扱について		
4 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO法人	11
等各種団体の状況及び今後の体制整備について		
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「備中松山城かご送迎 人工筋肉スーツで実験」等	12
新聞報道		
⑥その他(効果等)(様式1-6)	—

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	13
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

関係各課との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	--	---

計画に記載している内容 計画実施に当たっては、「高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議」において、計画の推進、連絡調整を行うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光課 日本遺産・歴まち推進室が中心となって、関係課と連携を図り各事業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	関係課が連携し取り組みを推進してきたが、一部で円滑に推進できなかった事業もあるため、引き続き、第2期計画で歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

《市内連絡会議》

- ・事業担当課と随時協議しながら事業を推進した。
関係課 … 観光課 日本遺産・歴まち推進室、教育委員会社会教育課、成羽地域局、建設課、都市整備課
- ・高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議
開催日：8/3、2/3
- ・高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議(担当者会議)
開催日：5/15、8/6
主な議事：高梁市歴史的風致維持向上計画の総括について
高梁市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定について

《高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会》

- 開催日：9/11、2/9
主な議事：高梁市歴史的風致維持向上計画(第2期)について



高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会



高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
高梁市景観計画に基づく良好な町並みの維持		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 都市計画施策と連携を図りながら、高梁市歴史的風致維持向上計画期間内において、早期に景観計画を策定し、歴史的な町並みと自然が一体となった良好な景観を守る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年に策定した高梁市景観計画に基づく届出がある場合、景観審議会において景観形成基準に対する適合性を審議する。
令和2年度は34件の届出があり、そのうち景観形成重点地区内の建築物については15件の届出があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	一定規模以上の行為を行う場合、景観法に基づく届出が必要であり、計画策定当初は届出を提出されない等のトラブルもあった。施主、建築会社、建築確認審査機関等へ告知を行い周知を図ってきたが、引き続き、計画への理解を求めていく。

状況を示す写真や資料等

《高梁市景観審議会》

開催日：2/24

主な議事：令和2年度高梁市景観計画及び景観条例に基づく届出実績報告 等

○景観形成重点地区内における行為

①岡山県立高梁高等学校男子寮の土塀

(劣化により亀裂が入るなど崩落の恐れもあったため、周囲の景観に配慮した改修)

【整備前】



【整備後】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

高梁市歴史的町並み保存地区整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22～令和2年度

支援事業名 高梁市文化振興基金

計画に記載している内容 歴史的町並みを保存し後世に伝えていくため、重点保存地区を指定し、市が定める条件にあった歴史的建造物の保存整備などを行う人に、一定の補助をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町の面影を色濃く残す本町や石火矢町、紺屋川筋などで、伝統的家屋等の保存修理や修景に対する補助を行っている。平成26年7月には、景観条例の施行に伴い、高梁市景観計画の景観形成道路を補助対象地区として追加した。令和2年度は、2件の歴史的建造物等の保存修理、修景に対して補助を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

人口減少等の影響もあり、歴史的な町並みにある家屋は老朽化による取り壊しや空き家が見られるようになってきている。制度の周知や住民意識の醸成を図り、歴史的町並みの存続に努める必要がある。

状況を示す写真や資料等

【修理前】

【修理後】

<福村邸>



<大場邸>



評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
史跡備中松山城跡記念物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

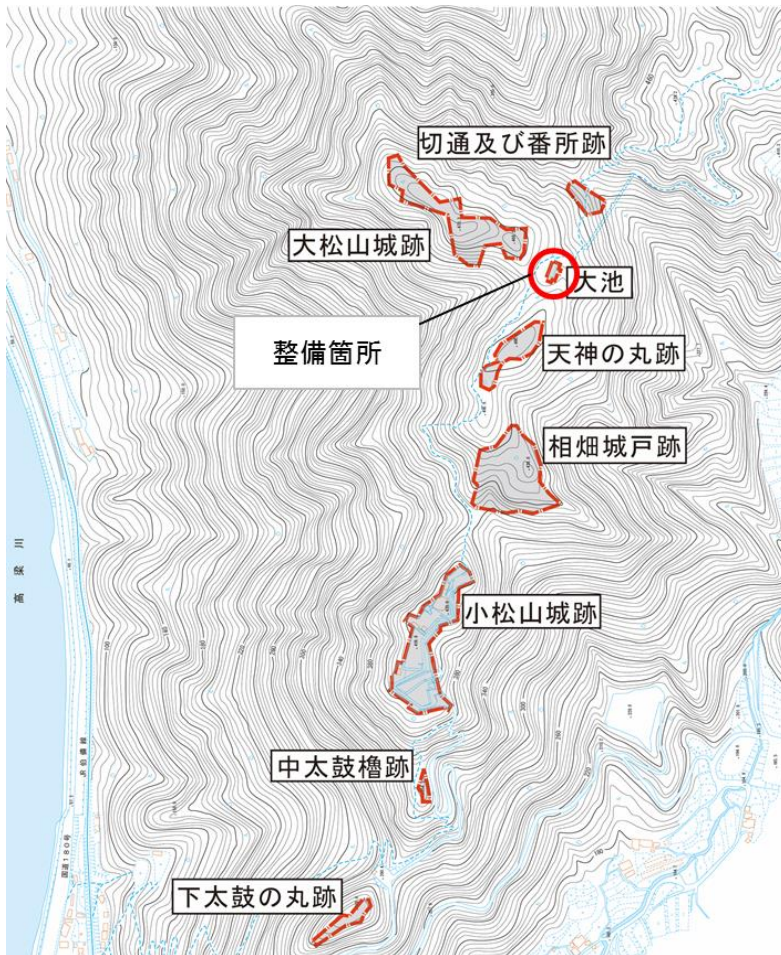
計画に記載している内容 史跡備中松山城跡の整備を順次行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大池の保存整備を長期的に実施する計画であり、令和2年度は5年目である。
大池を構成する石垣の解体修理とともに、間詰補修工事を実施した。また大池周辺の発掘調査を実施し、新たな石垣を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の発掘調査によって、整備方針を検討していく必要がある。 池内部の整備方法、水の排水方法について工法を検討する必要がある。

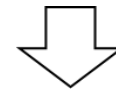
状況を示す写真や資料等



《位置図》



石垣解体修理 修理前の状況



石垣解体修理 修理後の状況



発掘調査区の状況(上空から)



新たに確認した石垣

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
旧吹屋小学校校舎保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 築100年が経過しており、老朽化が激しく修復の必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27～令和元年度の予定で保存修理工事を行っていたが、構造補強の見直しや既存部材の繕い加工に手間取り、また平成30年7月豪雨災害の影響による職人不足により、やむなく2年間の工期延長を行った。
令和2年度は、屋根、外壁を仕上げ、内部造作・埋木補修、左官中塗り、設備配線・配管などを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

旧吹屋小学校周辺整備との兼ね合いを検討した上で、外構工事等を実施する必要がある。また、完成後の活用を踏まえて、設備等の詳細な仕様を決めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



全景



本館2階 講堂



本館1階 三間廊下



西校舎 集会室



東校舎 教室(南側)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区において、補修の必要な家屋を順次保存修理していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区の傷みが激しくなってきた伝建家屋を順次整備していくことで、歴史的風致の維持向上を図った。令和2年度は3件の保存修理・修景を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施主の高齢化により改修への意識が低くなってきているが、吹屋町並保存会と連携し、引き続き、意識の高揚を図る。

状況を示す写真や資料等

《実施した建造物》

【修 理 前】

【修 理 後】

＜cafe紅や＞



＜吹屋休憩所＞



＜小坂家＞



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------	---

事業期間	平成22～令和2年度
------	------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業 効果促進事業)
-------	-------------------------------

計画に記載している内容	保存伝承育成を行う団体に補助金を支出することで活動のPRや団体基盤を強化し、引き続き保存伝承、後継者の育成ができるように支援する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要無形民俗文化財「備中神楽」、県指定重要文化財「渡り拍子」の保存伝承・育成を行う団体に対して補助金を支出することで、保存伝承、後継者の育成ができるように支援した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、祭事等が中止となったことから、活動自体を自粛する団体も多く、昨年度より補助団体数が減少している。

<令和2年度補助団体数>

備中神楽保存団体 2団体、備中神楽育成団体 9団体、渡り拍子伝承育成団体 5団体
 用具・衣装等の整備 2団体 計18団体 (事業費1,500千円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	少子化により担い手が減少しているため、神楽育成団体・渡り拍子保存会ともに補助団体数が減少していく可能性が課題として挙げられる。補助金の活用により、継続的な活動ができるよう、支援のPRを行うなど取り組みを実施し、活動を行っている団体数を維持する必要がある。また、新型コロナウイルスへの対策を講じた上での活動の継続が必要である。
--	--

状況を示す写真や資料等

<<活動費の補助>>

補助対象団体	補助金の限度額	補助交付実績(市内全域)
備中神楽保存団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり	191千円 (2団体)
備中神楽育成団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり 3,000円/保護者1家族あたり	1,133千円 (9団体)
渡り拍子伝承育成団体	10,000円/1カラあたり	90千円 (5団体)

補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	86千円 (2団体)



備中神楽 保存伝承活動状況



活動用設備の整備(神楽 幕)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
文化財の保存又は活用について 文化財の修理について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

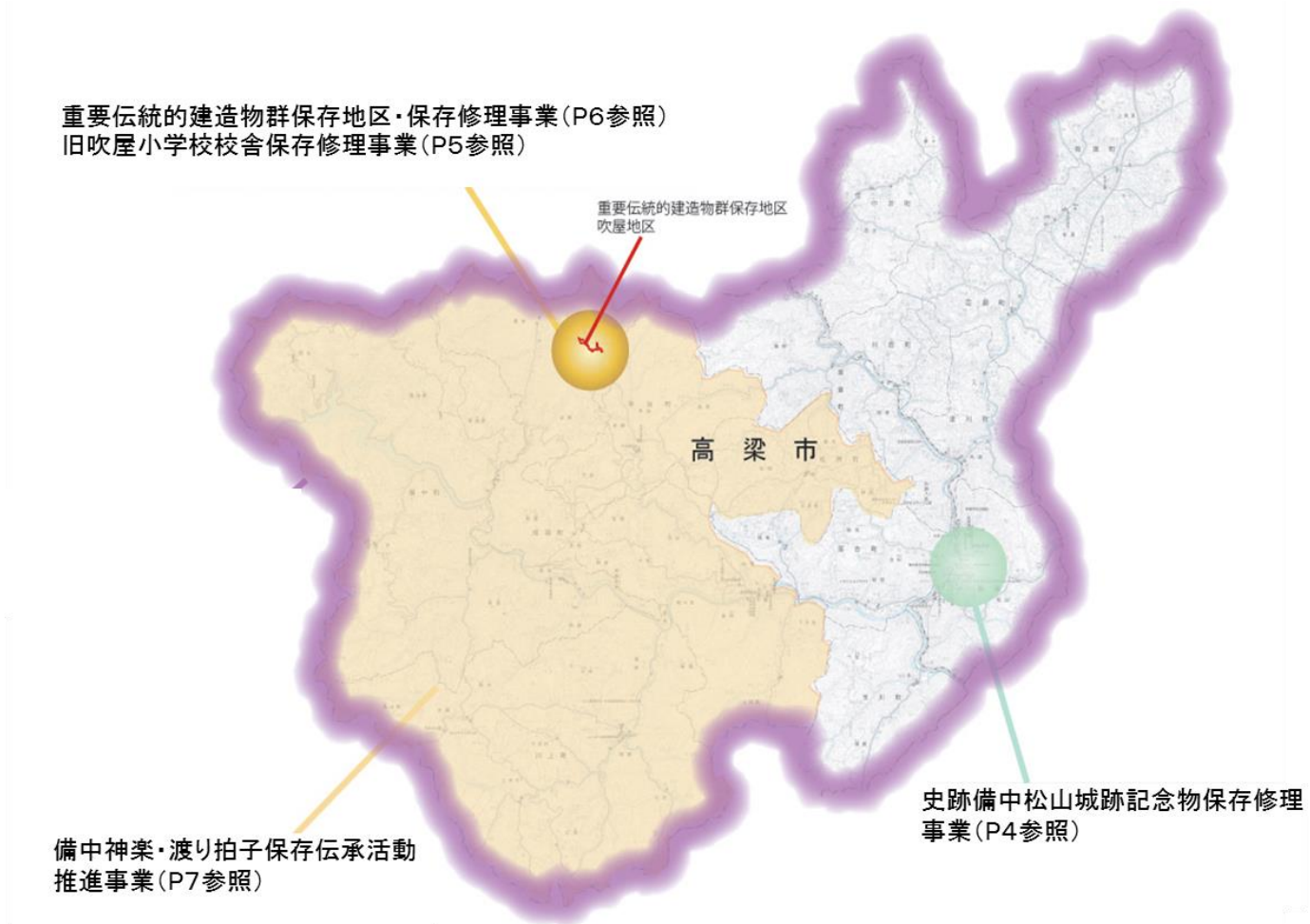
計画に記載している内容 文化財は貴重な財産として、今後とも適切に保護保存し、後世に引き継いでいく。また、文化財を活用することによって、高梁市の歴史、伝統、文化などを理解することができるとともに、市民の文化の向上と発展にもつなげる。
修理にあたっては、現状維持を基本とした修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用について
 - ・旧吹屋小学校校舎保存修理事業(P5参照)
 - ・備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業(P7参照)
- 文化財の修理について
 - ・史跡備中松山城跡記念物保存修理事業(P4参照)
 - ・重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業(P6参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の持つ価値を広く公開することは、文化財の保存・活用を図る上で重要なことである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

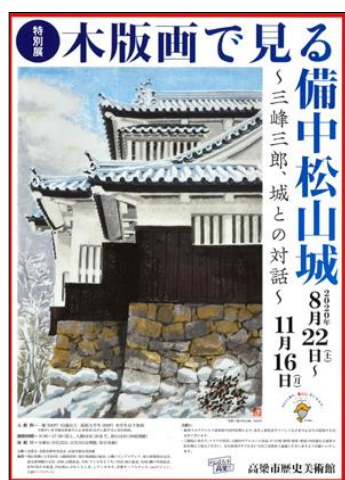
高梁市歴史美術館では、市民をはじめ多くの人に、高梁市ゆかりの文化財や絵画等に親しみ理解を深めてもらう機会とするため、定期的に展覧会を開催している。
令和2年度は特別展1回と常設展2回、小企画展1回を開催し、入場者数は延べ2,220人であった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、臨時休館及び企画展の中止を行った。新型コロナウイルスへの対策を講じた上での展覧会開催の必要がある。

状況を示す写真や資料等

●高梁市歴史美術館 展覧会

【期 間】	【展覧会名】	【入場者数】
4/1~8/17 (82日間)	たかはしの歴史と美術「絵図で見る！知る！高梁」 常設展「山田方谷の生涯」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策による臨時休館 (4/10~5/10) ※燻蒸作業による休館(5/27~6/7) ※臨時休館を行ったことに伴い、会期を8/17まで延長	227人
8/22~11/16 (75日間)	特別展「木版画で見る備中松山城～三峰三郎、城との対話～」	1,168人
11/21~12/27 (32日間)	小企画展「たかはしゆかりの絵画展」	209人
1/9~3/15 (57日間)	たかはしの歴史と美術「館蔵刀剣せいぞろい」 常設展「山田方谷の生涯」	616人



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及啓発について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開していくとともに、各種講座や講演会、市広報紙、ホームページなどを通じて、文化財の周知と文化財保護の周知を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎年、文化財の普及啓発について、高梁市の歴史的風致をテーマとして、歴史セミナー「高梁いろは塾」を開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、令和2年度は実施することができなかった。ほかに地域の歴史について、文化財の特別公開、現地研修などを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルスへの対策を講じた上での講座開催や、その他の手段を用いた啓発活動の推進も図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

●地域の歴史を学ぶ

- ・重要文化財備中松山城二重櫓 特別公開
築城780年特別公開(11/1~11/3)
- ・備中松山城 現地研修
高梁市立落合小学校、津川小学校、川面小学校、富家小学校、松原小学校、福地小学校、高梁小学校、高梁市立高梁東中学校
- ・高梁市郷土資料館(市指定重要文化財・旧高梁尋常高等小学校) 現地研修
岡山県立高梁高等学校、高梁市立高梁中学校、高梁東中学校、高梁北中学校、有漢中学校、成羽中学校、高梁市立落合小学校、成羽小学校、川面小学校、巨瀬小学校、富家小学校、松原小学校、高梁小学校、川上小学校、高梁市立高梁幼稚園、倉敷市立川辺小学校
- ・出前講座 高梁市立有漢中学校(城下町)
- ・山城跡 現地解説 常山城跡、寺山城跡
- ・城下町 現地研修
高梁市立有漢東小学校、川面小学校、高梁市立有漢中学校
- ・山田方谷記念館 現地研修
岡山県立高梁高等学校、高梁市立高梁中学校、高梁東中学校、高梁北中学校、有漢中学校、成羽中学校、高梁市立高梁小学校、落合小学校、福地小学校、松原小学校、中井小学校、川上小学校
- ・備中松山城でのイベント
ニノマルシェ(平成牛籠舎)、貸切イベント(天守内での備中神楽)



備中松山城の天守内における神楽(貸切イベントにて)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の防災について 埋蔵文化財の取扱について 文化財の保存・活用に関わっている住民、NPO法人等各種団体の状況及び今後の体制整備について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 消防署と連携し、防火施設や消火施設に対し、適正な管理を促すとともに、所有者などに対し定期的な消火訓練などを促し防災体制の強化に努める。
 開発等にあたっては、事業者と事前に協議を行うように指導し、できる限り埋蔵地を回避または保存するよう働きかけていく。
 人材育成を図って、行政と市民との協働による文化財の保存・活動につながるような体制の整備を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーにあわせて、市内の指定重要文化財について、防火査察を行うとともに、消火訓練を行った。また文化財の所有者に対し、防犯、傷付け事案の発生に対する注意喚起を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	世界的な文化財の火災等を受けて、地域住民の文化財等に対する防災意識が高まっているが、引き続き啓発を行うとともに、文化財に対する理解も深めてもらう必要がある。

状況を示す写真や資料等

- 1月26日の文化財防火デーに、高梁市消防本部が教育委員会とともに、国指定・県指定・市指定の重要文化財(建造物)の防火査察を行った。
また、重要文化財における消防設備点検にあわせて、設置している消防設備の使用方法について訓練を行った。
- 開発にあたり、教育委員会に事前の照会が39件あり、埋蔵文化財包蔵地について文化財保護法第93条の届出が5件(工事立会3件)であった。
- 川面町において地元団体が自主的に寺山城の整備を行っており、教育委員会が指導した。
また、有漢町において、常山城跡の整備を始めるにあたり、教育委員会が指導した。



備中松山城での消防訓練



寺山城



旧片山家住宅での消防訓練

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

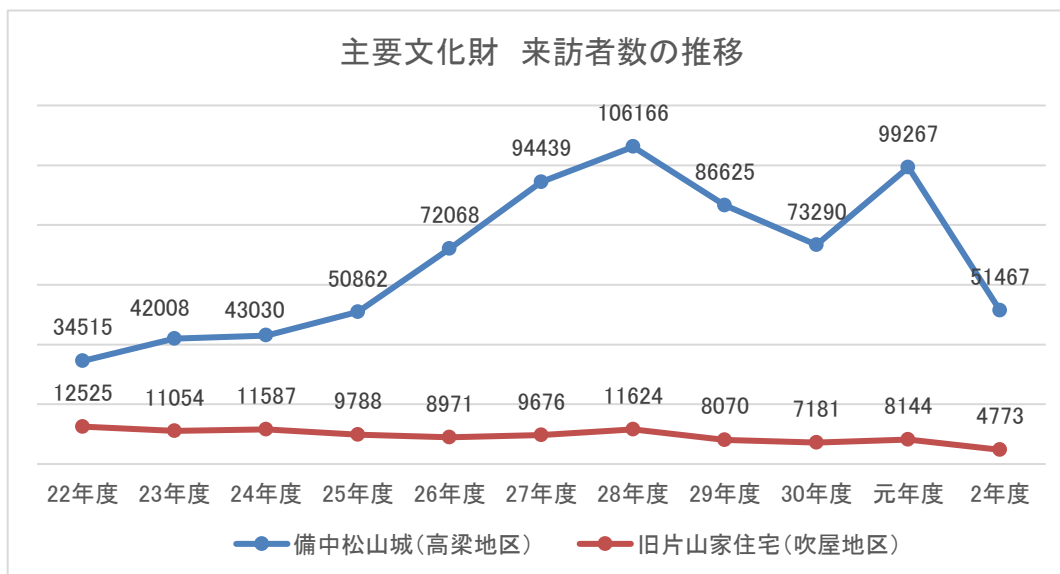
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
備中松山城かご送迎 人工筋肉スーツで実験	令和2年5月9日	山陽新聞
備中松山城 来月1日再開	令和2年5月29日	山陽新聞
備中松山城 来月1日再開へ準備	令和2年5月30日	山陽新聞
マルセン賞に7人4団体 洪野選手スポーツ大賞(松山踊り保存会受賞)	令和2年6月11日	山陽新聞
「ジャパンレッド」日本遺産に 高梁・吹屋 ベンガラの歴史	令和2年6月20日	山陽新聞
「備中吹屋」日本遺産に 高梁市ベンガラ産地 認定喜び	令和2年6月20日	読売新聞
備中兵乱の舞台紹介 県文化財センター中世城館跡パンフ	令和2年6月26日	山陽新聞
方谷の足跡知って 高梁・記念館 伝来史料展始まる	令和2年6月26日	山陽新聞
旧吹屋小屋根 間近で 高梁市教委公開 修理進む 折り上げ天井も	令和2年7月29日	山陽新聞
先人の情熱 染めた赤	令和2年8月4日	読売新聞
高梁・旧吹屋小保存修理工事一般公開 間近で見学 最後の機会	令和2年8月5日	山陽新聞
おもてなし 若者・よそ者の備北自慢 高梁・ベンガラ染め	令和2年8月12日	山陽新聞
松山踊り奉納 疫病退散願う 高梁市観光協会 ゆかりの地で初(八幡神社・八重籬神社)	令和2年8月18日	山陽新聞
高梁市「ジャパンレッド」発信 日本遺産推進協議会が発足	令和2年8月26日	山陽新聞
重伝建・吹屋ふるさと村の古民家カフェ 30年ぶり ふき替え見に来て	令和2年9月4日	山陽新聞
高梁 城下に残る町家は? 調査参加募る 資産として活用へ	令和2年9月10日	山陽新聞
高梁 城下の町家調査開始 実行委 建築年代や構造確認	令和2年9月17日	山陽新聞
赤褐色の街 誘客に磨き 岡山・高梁の吹屋地区、日本遺産認定機に	令和2年10月3日	日本経済新聞
閉店危機そば店に“2代目”誕生 高梁・吹屋地区で移住男性が奮起	令和2年10月30日	山陽新聞
高梁・吹屋ふるさと村「花めぐり」 ベンガラの町 彩り豊か	令和2年11月3日	山陽新聞
吹屋ふるさと村でフォト婚 コロナで式自粛のカップルら2組	令和2年11月3日	山陽新聞
出口三十三観音 次世代に	令和2年11月11日	山陽新聞
豊かな自然愉しんで 備中松山城登山道 城南高生 手作り樹名板設置	令和2年11月12日	山陽新聞
白波 天守輝く 備中松山城	令和2年11月12日	山陽新聞
備中松山城 登城かご きらびやか	令和2年11月13日	山陽新聞
登城かご 軽やか 備中松山城観光客ら試乗	令和2年11月16日	山陽新聞
寒風の中 天守美化 備中松山城すす払い	令和2年12月16日	山陽新聞
さんじゅーろーの御城印だニャン 備中松山城で販売	令和3年2月21日	山陽新聞
山田家伝来掛け軸2点展示 非凡方谷幼少期の書	令和3年2月26日	山陽新聞
「子ども神楽」11日初公演 高梁市中心部「クラブ」 昨年5月から活動	令和3年3月5日	山陽新聞
備中松山城下 町家379件 NPOなど実行委調査 町並み保存の基礎資料に	令和3年3月5日	山陽新聞
歴史的風致維持 国、2期計画認定 高梁・備中松山城下と吹屋	令和3年3月30日	山陽新聞
方谷4歳の書額発見 高梁・御前神社	令和3年3月30日	山陽新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財を活用したイベントや文化財の保存・保護に向けた取り組みが数多く報道され、とりわけ6月に吹屋が日本遺産に認定され、取り上げられる機会も増加した。平成30年7月豪雨災害後、回復傾向にあった来訪者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による落ち込みはあるものの、前年度の5~6割程度を維持した。備中松山城猫城主「さんじゅーろー」と、日本遺産「ジャパンレッド」の誘客効果は高く、地域の活性化につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	新型コロナウイルスへの対策を講じながら、関係機関が連携して来訪者数の回復に向けた取り組みを進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会	
会議等の開催日時:令和3年5月11日～5月25日(意見聴取)	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家屋の解体などで隣地が更地になった際に、周囲の景観に沿った家屋の修景整備が行われているのは良いことだ。一方で、高齢化による改修意識の低下については、吹屋地区ばかりでなく、全体に感じられることでもあるので、地域の関連団体との連携によって改善が図られることを願っている。 ・文化財の保存と活用については、少し前から盛んに言われるようになった。国宝に指定された、日本遺産に認定されたなどの直後には文化財への意識も高まるが、時間の経過とともに関心も薄れていく。関係諸団体や民間企業等との連携により、文化財を適切に保護・保存しながら、活用の面でも五感が躍るような面白い企画があればよいと思う。 ・本町通りを歩く機会があり、同行者と町並みを見ながら無電柱化は必要だという話になった。町並み保存地区整備事業といった取り組みで町並みの景観は整いつつあるようにも感じるが、せつかくの景観も電柱によってかすんでしまう。難しい課題もあると思うが、実現に向けて取り組みを進めてほしい。 ・吹屋地区では、旧吹屋小学校校舎の保存修理事業がいよいよ大詰めを迎えるが、周辺整備も早急に進めて、保存と活用の両面でより良いものとなることを期待している。吉岡銅山遺跡も重要な遺産であるので、調査や保存の事業を着実に進めてほしい。日本遺産関係についても、情報発信と併せて、訪れた人が歩いて周遊できるような環境整備も進めてほしいと思う。第2期計画においても、計画に基づく事業がスムーズに実施されることを願っている。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高梁市歴史的町並み保存地区整備事業については、第2期計画でも引き続き実施を予定している。歴史的な町並みは高梁市の歴史的風致を形成する大切な資産であることを認識してもらうよう市民への周知を図り、地域住民の理解と協力を得ながら町並みの保存・修景に取り組んでいく。 ・第1期計画で未実施となった歴史的風致形成建造物の指定について、第2期計画での実施により、維持管理や修理、修景を行い公開などの活用を図っていきたいと考えている。また、空き家となっている古民家を宿泊施設等として再生し活用することなど、滞在型観光の充実を図る事業にも取り組んでいく予定である。文化財の保存・活用に関わっている各種団体等とより一層の連携を図りながら、活用面での企画についても検討していきたい。 ・無電柱化は、財政面と住民合意での課題が残り、第1期計画期間では未実施となった。第2期計画後半での事業実施を計画しており、実施に向けて関係機関等との連携を図っていく。 ・旧吹屋小学校を核としながら、吹屋地区重点区域全体の魅力向上と回遊性を高めることができるよう、第2期計画においても、重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業や文化財等の整備事業、周遊コースの環境整備等の事業に取り組んでいく予定である。地域住民や関係団体等との連携による活用の充実も図っていききたい。 	